



## 記者発表資料

# 首都圏を災害から守り、安心して暮らせる荒川流域を目指して ～令和4年度 荒川下流河川事務所の事業概要～

荒川下流河川事務所が管理する荒川下流部の約30km(荒川の笹目橋から河口まで)の区間は人口や資産、社会経済活動の中核機能などが集中しており、仮に荒川の堤防が決壊し氾濫すれば、広大な地域が浸水し、甚大な被害が発生するおそれがあります。

以下のポイントを重点に河川整備を推進することで被害の防止・軽減を図り、流域の皆さまが安心して暮らせるようにすることで、統合的に経済・社会・環境の課題解決に取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に貢献していきます。

### ～河川整備のポイント～

1. 首都圏大規模水害から街を守る治水対策
2. 大規模地震から街を守る治水対策
3. 首都直下地震・首都圏大規模水害に備えた危機管理
4. 良好な環境の保全
5. 安全性を持続的に確保するための維持管理
6. 地域や市民との連携の推進

※詳細につきましては、令和4年度 事業概要パンフレットをご覧ください。

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ(東京都) 川口市記者クラブ

問い合わせ先	
国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所	
副 所 長 ( 事 業 )	たむら まさひろ 田村 匡弘
副 所 長 ( 管 理 )	あらかわ よしこ 荒川 佳子
総括地域防災調整官	みやもと さとし 宮本 智 (TEL.03-3902-2311)
国土強靱化企画室長	ささうち かつゆう 笹内 覚雄
河川管理室長	たかはし まさき 高橋 正樹

# 令和4年度 荒川下流河川事務所 予算総括表

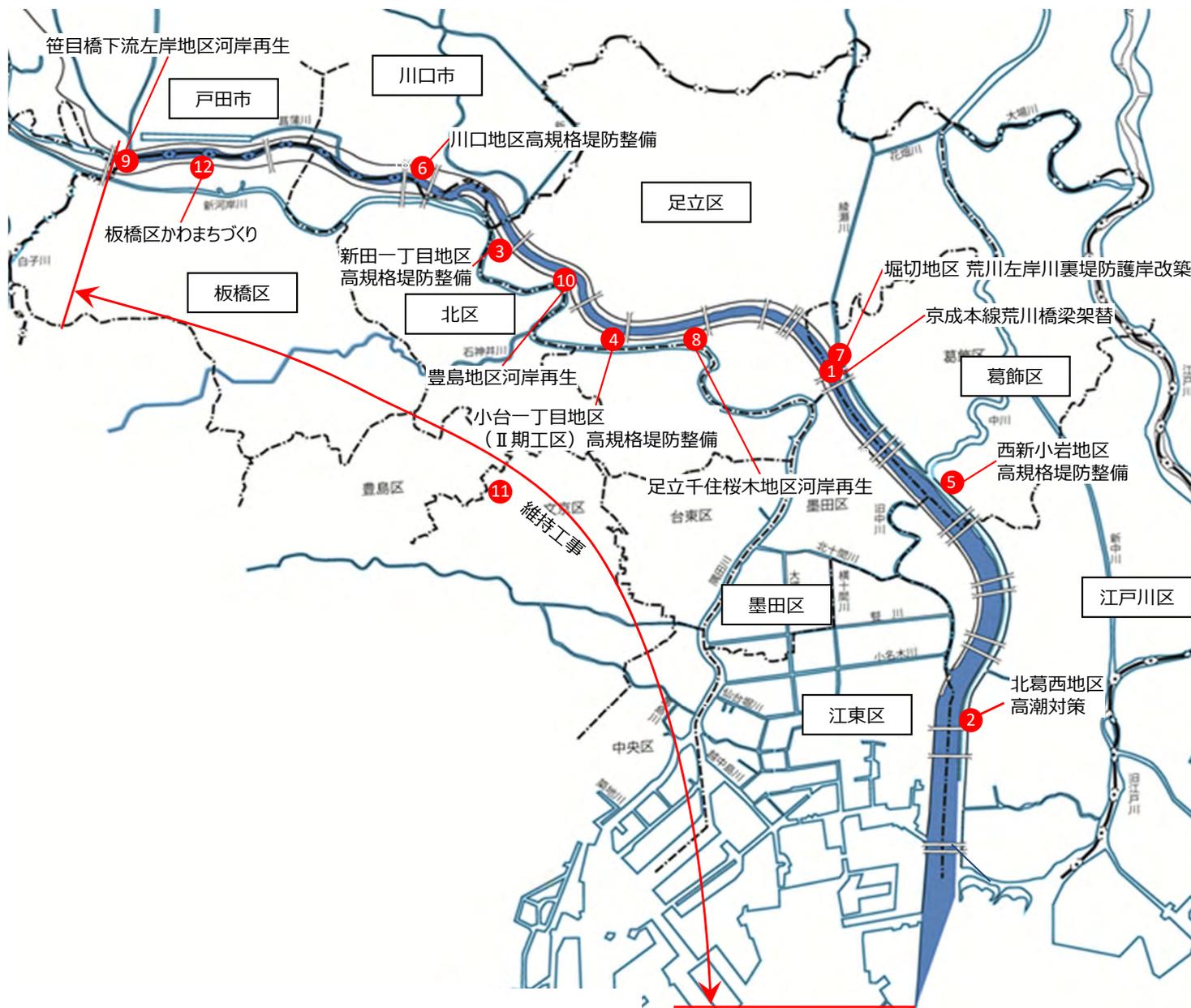
(単位:百万円)

予算科目	令和4年度 事業費	前年度 事業費			対前年度比
	当初予算	当初予算	補正予算	計	当初予算比較
河川整備事業費	3,891	2,406	2,496	4,902	1.62
河川改修費	2,782	1,305	1,956	3,261	2.13
一般河川改修事業	1,121	674	1,956	2,630	1.66
流域治水整備事業	40	40	0	40	1.00
特定構造物改築事業	1,621	591	0	591	2.74
河川維持修繕費	1,109	1,101	540	1,641	1.01
河川工作物関連応急対策事業費	0	0	0	0	—
都市水環境整備事業費	3,565	5,412	0	5,412	0.66
河川都市基盤整備事業費	3,176	5,162	0	5,162	0.62
総合水系環境整備事業費	389	250	0	250	1.56
総合流域防災事業費	0	0	10	10	—
総合流域防災対策事業費	0	0	10	10	—
事業費計 (諸費等を除く)	7,456 <sup>※</sup>	7,818	2,506	10,324	0.95

※上記のほか、受託工事費、工事諸費等がある。  
 ※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

# 令和4年度 主要事業

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。



首都圏大規模水害から街を守る治水対策
(1) 洪水を安全に流下させるための対策
①京成本線荒川橋梁架替
(2) 高潮堤防の整備
②北葛西地区高潮対策
(3) 超過洪水対策
③新田一丁目地区高規格堤防整備
④小台一丁目地区(Ⅱ期工区)高規格堤防整備
⑤西新小岩地区高規格堤防整備
⑥川口地区高規格堤防整備

大規模地震から街を守る治水対策 首都直下地震・首都圏大規模水害に備えた危機管理
河川管理施設の地震対策
⑦堀切地区荒川左岸川裏堤防護岸改築

良好な環境の保全
自然な河岸の再生
⑧千住桜木地区河岸再生
⑨笹目橋下流左岸地区河岸再生
⑩豊島地区河岸再生

安全を持続的に確保するための維持管理
治水機能を支える維持管理
⑪維持工事

地域や市民との連携の推進
協働による安全・快適な荒川づくり (ミズベ・グリーンコミュニティ)
⑫板橋区かわまちづくり

けいせいほんせんあらかわきょうりょうかけかえ  
京成本線荒川橋梁架替

あだちくせんじゅあけほのちょう  
東京都足立区千住 曙町地先  
かつしかくほりきりよんちようめ  
東京都葛飾区堀切四丁目地先  
(京成本線荒川橋梁架替)

1. 事業概要

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。

荒川下流部において橋梁の架け替えを実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業内容

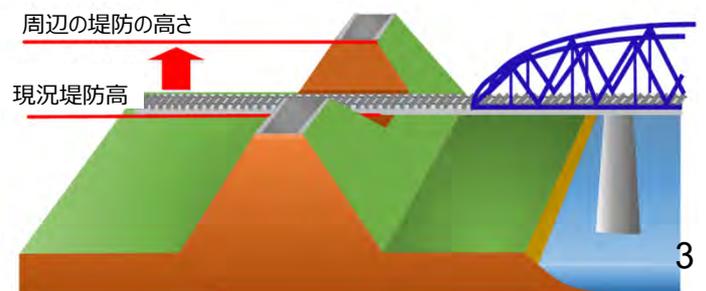
橋脚基礎工及び用地補償等を実施します。



周辺の堤防より低い橋梁部



高さ不足のイメージ



きたかさい たかしおたいさく  
北葛西地区 高潮対策

えど がわく きたかさい  
東京都江戸川区北葛西地先

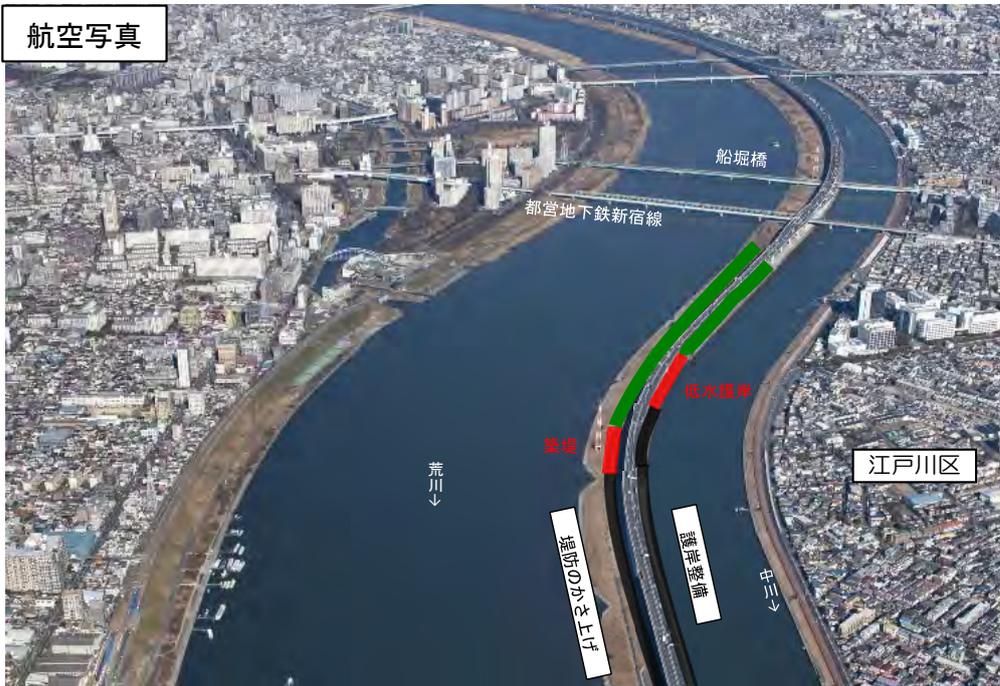
### 1. 事業概要

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。

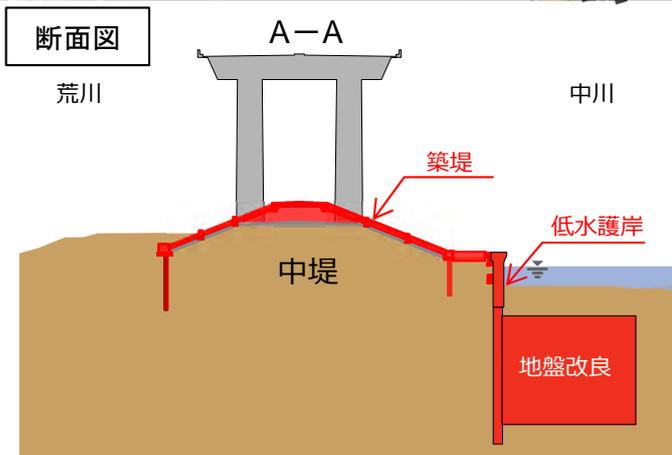
荒川下流部において背割堤(通称「中堤」)について、築堤等を実施し、早期に安全性の向上を図る。

### 2. 事業内容

堤防のかさ上げ等を実施し、高潮堤防として必要な堤防断面を確保します。



凡例	
■ (黒)	令和3年度まで
■ (赤)	令和4年度実施
■ (緑)	令和5年度以降



しんでんいっちょうめ  
新田一丁目地区高規格堤防整備

あ だち く しんでん いっちょうめ  
東京都足立区新田一丁目地先

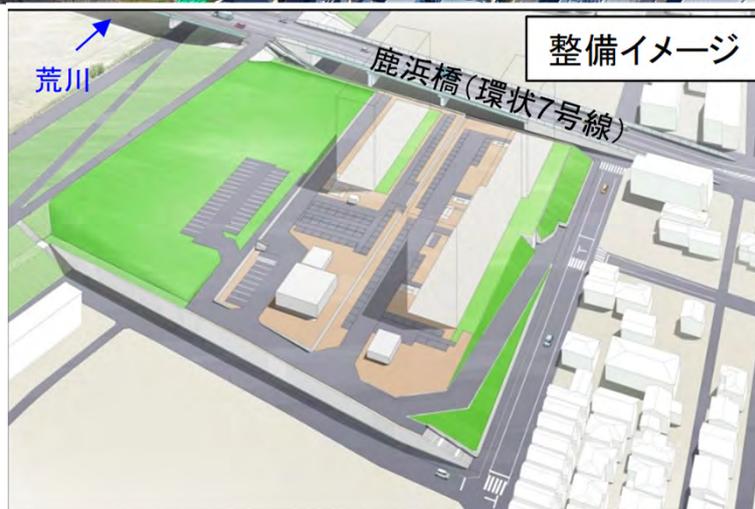
1. 事業概要

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。

荒川下流部において高規格堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業内容

高規格堤防整備に伴う盛土等を実施します。



おだい いっちょうめ  
小台一丁目地区(Ⅱ期工区)高規格堤防整備

あ だち く おだい いっちょうめ  
東京都足立区小台一丁目地先

1. 事業概要

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。

荒川下流部において、高規格堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業内容

高規格堤防整備に伴う盛土等を実施します。



にしんこいわ  
西新小岩地区高規格堤防整備

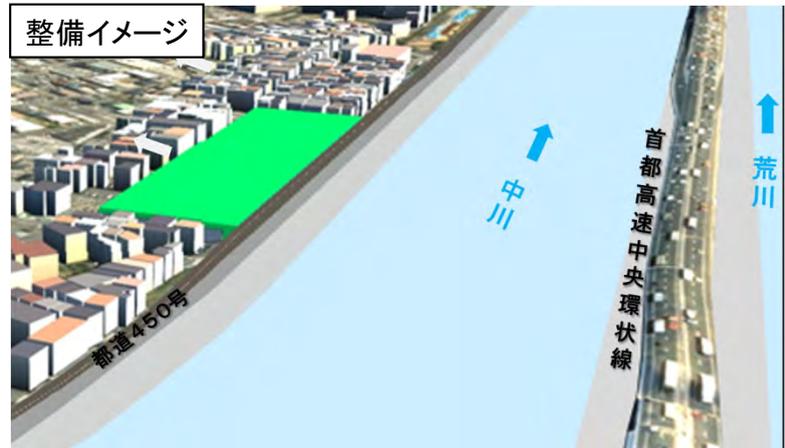
かつしかく にしんこいわ さんちようめ  
東京都葛飾区西新小岩三丁目地先  
にしんこいわ  
(西新小岩地区)

1. 事業概要

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。  
荒川下流部において高規格堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業内容

高規格堤防整備に伴う設計等を実施します。



かわぐち  
川口地区高規格堤防整備

かわぐち し ふなとちよう  
埼玉県川口市舟戸町地先  
(川口地区)

1. 事業概要

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進する。

荒川下流部において高規格堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業内容

高規格堤防整備に伴う旧堤防撤去等を実施します。



航空写真



整備イメージ







ささめばし かりゆう さがん  
笹目橋下流左岸地区河岸再生

とだし しもささめ  
埼玉県戸田市下笹目地先

### 1. 事業概要

荒川下流部の水際は、かつてヨシ原や干潟の多様な自然が形成されていましたが、高水敷の造成や船舶の航行時に発生する波(航走波)の侵食により、多様な生物の生息・生育・繁殖環境が減少していましたが、現在は徐々に回復しています。

本事業では、緩傾斜護岸等により水際部における横断方向の連続性を確保するとともに、木工沈床等を河岸前面に整備し消波対策を行い、多様な生物の生息・生育・繁殖環境となるヨシ原や干潟の保全・再生を行います。

### 2. 事業内容

笹目橋下流左岸において緩傾斜護岸等を実施します。



凡例  
令和4年度実施



# としま 豊島地区河岸保全

きたく としま  
東京都北区豊島地先

## 1. 事業概要

荒川下流部の水際は、かつてヨシ原や干潟の多様な自然が形成されていましたが、高水敷の造成や船舶の航行時に発生する波(航走波)の侵食により、多様な生物の生息・生育・繁殖環境が減少していましたが、現在は徐々に回復しています。

本事業では、捨石工等により水際部における横断方向の連続性を確保するとともに、多様な生物の生息・生育・繁殖環境を創出します。

## 2. 事業内容

豊島地区において捨石工等を実施します。



### 整備イメージ



# いたばし 板橋区かわまちづくり

いたばし しんがし  
東京都板橋区新河岸三丁目地先外

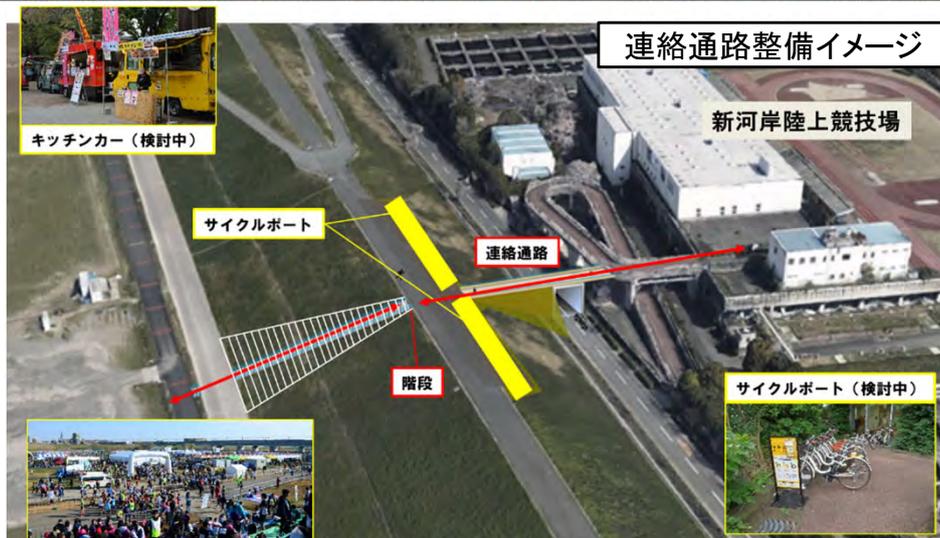
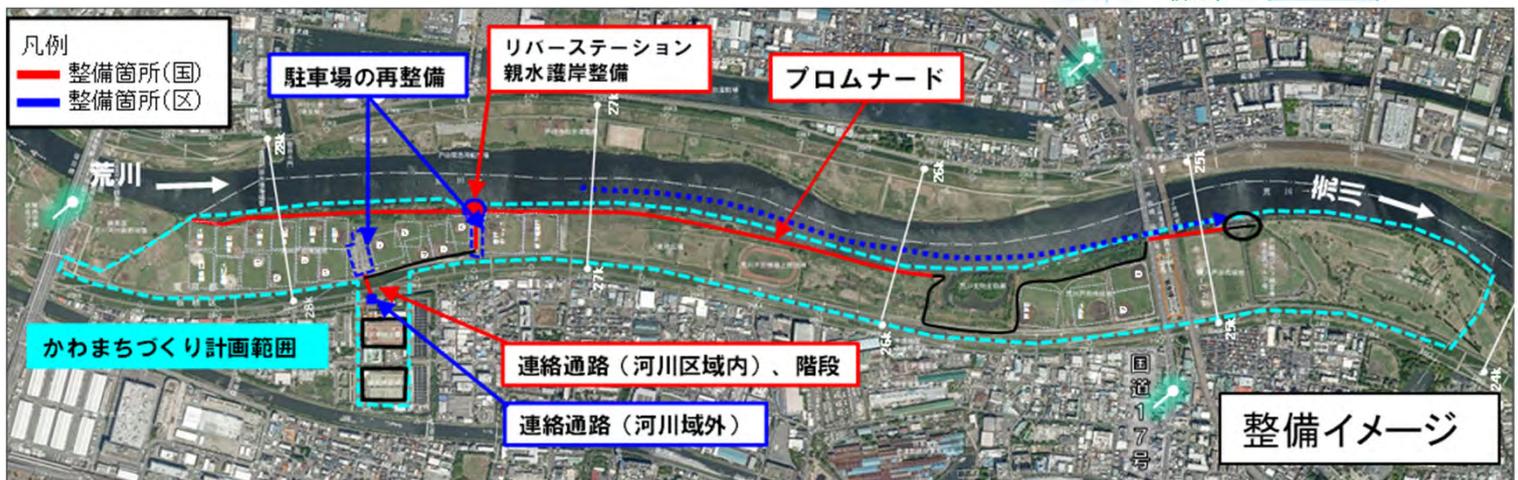
## 1. 事業概要

板橋区では、「板橋区都市づくりビジョン」及び「荒川将来像計画(地区別計画【板橋区】)」において、荒川河川敷付近を自然と人が融合する交流拠点「光と風の荒川」と位置づけ整備・保全に取り組んでいます。

この取組を充実させるため、本計画では運動・緑地施設整備を進め、市街地側と河川側の動線を整備し、市街地側と連携するとともに、親水及び交流拠点を再編し、交流の機会や場を創出します。今回、荒川右岸の舟渡・新河岸地区において、利用者の利便性や安全性の向上のため、連結通路の整備を板橋区と国で、側帯の整備を国で行い、荒川の自然とまちを結びつけて、地域の活性化を推進するものです。

## 2. 事業内容

かわまちづくりに関する整備等を実施します。





# 荒川下流

# 2022

## 令和4年度 事業概要

地方創生 SDGs  
官民連携  
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

荒川放水路は2024年に通水100周年を迎えます

国土交通省 関東地方整備局  
荒川下流河川事務所

# 荒川下流河川事務所運営方針



みんなで一緒に  
あらかわろう!



## 運営方針を実行するための三つの柱



**SDGs** 荒川下流域において持続可能な川づくり、まちづくり、ひとづくりの取組を推進することでSDGs達成に貢献  
 ー流域治水×SDGsの推進、SDGs学習の支援、パートナーの皆様とともに進める取組をSDGsレポートとして公表など



**DX** データの3次元化により業務効率化の促進、行政サービスの向上を目指し、DXを推進  
 ー3D河川管内図の整備によるi-Constructionの推進、オンライン出前授業、ドローン(UAV)による河川巡視・施設点検など



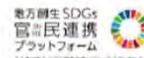
**荒川下流ミズベ・グリーンコミュニティの構築を目指し、皆様とのパートナーシップを強化する荒川下流グリーンインフラを展開**  
 ー荒川水辺サポーター、水辺の楽校、河川協力団体、荒川クリーンエイド、荒川情報レポーター等との連携強化、ミズベリング等の実施による新たなパートナーシップの構築など

- 荒川下流河川事務所は、健康な川づくりを目指すことを事務所運営方針（ビジョン）として改めて宣言し、荒川下流域の「川」「まち」「ひと」がともにウェルビーイングな状態に変容していくように、皆様とともに三つの柱（ミッション）を推進していくことを

「みんなで一緒にあらかわろう！」  
(ARAKAWA TRANSFORMATION)

として公表しました。

みんなで一緒にあらかわろう！  
(ARAKAWA TRANSFORMATION)



荒川下流河川事務所は、荒川に触れ合うすべての人が荒川に関心を持ち、「荒川」と荒川に関わる「まち」と「ひと」がともにウェルビーイング<sup>(※1)</sup>（健康）な状態へ変容していくこと（トランスフォーメーション）を皆様とともに目指します

私たちはこれまでも様々な業務を通じ、健康な川づくり<sup>(※2)</sup>をテーマとして次の5つを川づくりの理念として掲げてきました。

- 1) 多くの生き物を育む荒川
- 2) 河川空間の節度ある利用を回れる荒川
- 3) 安心して快適な暮らしができる安全な荒川
- 4) 子供達が川と触れ合い、誰もがくつろげる荒川
- 5) きれいで豊かな水が流れる荒川

適正な利用の推進と新たな魅力を創出するとともに、生態的・社会的な持続性を可能とするには、個人や社会が意識を変容させ、主体的に取り組むことによる発展が不可欠です。

今まさに意識の変容が求められています。  
だから、「みんなで一緒にあらかわろう！」  
(ARAKAWA TRANSFORMATION)。

私たちは、健康な荒川の実現を皆様と一緒に改めて開始することへの呼びかけをこう表します。

- そして、次の取組を実行します。
- 一つ 私たちは皆様とともに、荒川下流域において**持続可能な川づくり**、まちづくり、ひとづくりの取組を推進することでSDGs<sup>(※3)</sup>達成に貢献してまいります
  - 一つ 私たちは皆様とともに、データとデジタル技術を活用して行政サービスの向上を目指し、DX<sup>(※4)</sup>を推進してまいります
  - 一つ 私たちは皆様とともに、荒川下流ミズベ・グリーンコミュニティ<sup>(※5)</sup>の構築を目指し、皆様とのパートナーシップを強化する**荒川下流グリーンインフラ**<sup>(※5)</sup>を展開してまいります

そして、

みんなで一緒にあらかわろう!



←こちらでSDGsレポートを公表しています



←こちらでSDGsパートナーズを公表しています

# CONTENTS

- ・ 事務所運営方針
- ・ 荒川放水路の歴史 ..... 3
- ・ 令和4年度プロジェクトマップ ..... 4
  - 1. 首都圏大規模水害から街を守る治水対策 ..... 5
  - 2. 大規模地震から街を守る治水対策 ..... 6
  - 3. 首都直下地震・首都圏大規模水害に備えた危機管理 ..... 6
  - 4. 良好な環境の保全 ..... 7
  - 5. 安全性を持続的に確保するための維持管理 ..... 7
  - 6. 地域や市民との連携の推進 ..... 9
- ・ 令和3年度荒川下流河川事務所の取り組み ..... 10
- ・ 令和元年東日本台風（台風第19号） ..... 12
- ・ 荒川下流河川事務所について ..... 15



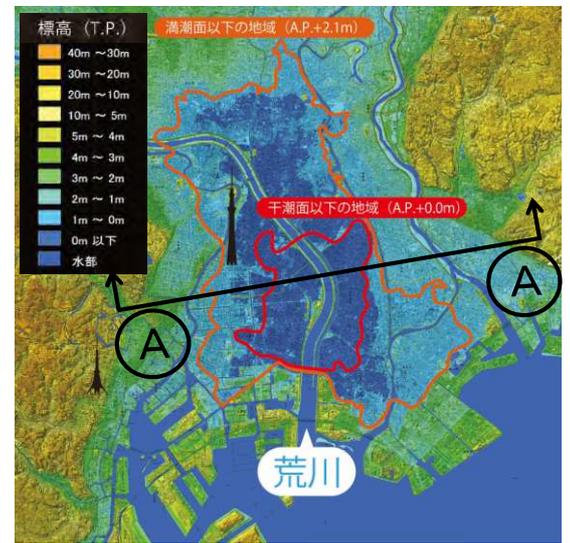
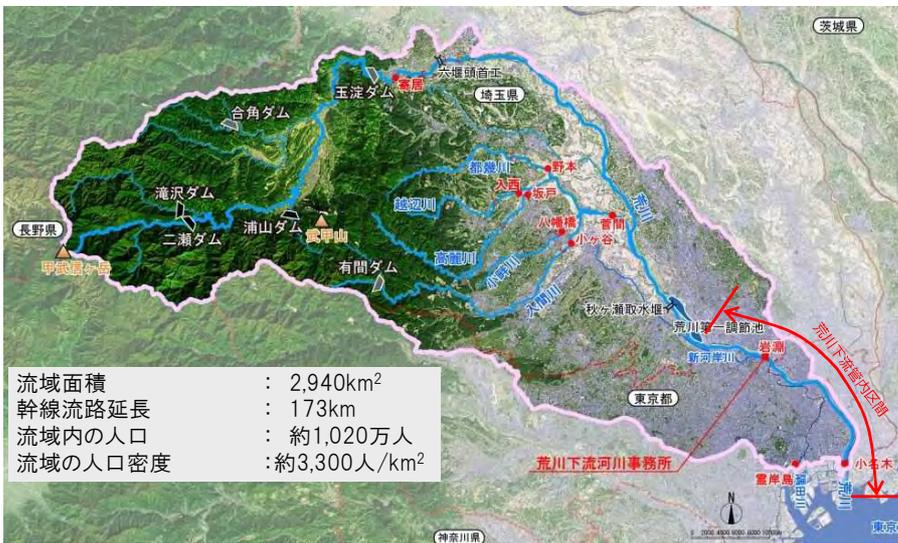
表紙の写真

- ①板橋区かわまちづくり 未来の板橋発想会議
- ②荒川水辺サポーター
- ③荒川3D洪水浸水想定区域図  
～3D洪水ハザードマップ～
- ④岩淵水門（青・赤）より北方向を望む  
撮影：荒川UAVチーム「Kingfisher」
- ⑤河道掘削工事状況
- ⑥SDGsの取り組み（工事現場からの情報発信）
- ⑦京成本線荒川橋梁架替バラベツ設置状況

荒川の下流部は、首都圏を貫流する都市河川です。このうち、岩淵水門から下流の約22kmは、洪水から首都圏を守るため、大正13年（1924）に通水し、昭和5年（1930）に完成した人工的に開削された放水路です。

また、荒川下流部は地下水や水溶性天然ガスなどのくみ上げによって、昭和20年代から30年代にかけて広域地盤沈下が発生しました。堤防や市街地が沈下し、満潮位以下の土地、いわゆるゼロメートル地帯が広く存在しています。一方で、人口や資産も極度に集中し、治水対策を進める事が非常に重要です。

荒川下流河川事務所は、荒川放水路開削工事の着手にあたって、明治44年（1911）8月に『荒川改修事務所（内務省土木局東京土木出張所）』を東京府南足立郡千住町に設置、2度の移転を経て、昭和25年（1950）から現在の北区志茂へ移転し、荒川下流部の約30km（荒川の笹目橋から河口まで）の区間で様々な施策を行っています。



●A.P.とは、荒川工事基準面のことで、標高(T.P.)+0.0mはA.P.+1.134mです。

- 凡例
- 高潮の脅威にさらされる地域(A.P.+5.1m)
- 満潮面\*以下の地域(A.P.+2.1m) ※期望平均満潮位
- 干潮面以下の地域(A.P.+0.0m)

## 広域に広がるゼロメートル地帯

# 荒川放水路の歴史

## 荒川放水路建設

荒川（現在の隅田川）周辺では、江戸時代から明治時代にかけて、洪水が頻発していました。特に明治43年（1910）洪水は大きな被害をもたらしました。この洪水を契機として、洪水対応能力を向上させるため新たな放水路、現在の荒川を建設することとなりました。

岩淵の下流から中川の河口方面に向けて、延長22km、幅500mの放水路を開削し、北区の岩淵に水門を造り本流を仕切り、大正13年（1924）に通水し、昭和5年（1930）に荒川放水路として完成しました。

荒川放水路の開削工事は、人力掘削、機械掘削、機械浚渫の順で進められました。高水敷高以上の掘削と地面が平らでなく機械掘削に適さない場所の掘削は基本的に人力で掘削され、低水路の高水敷高以下3.7mまでの部分は機械掘削、機械掘削面よりも低い部分の土砂は機械浚渫で取り除き、人力掘削、機械掘削で発生した土砂は堤防の築造に利用されました。

## 明治43年洪水



撮影場所：現在の錦糸町付近



撮影場所：現在の浅草付近



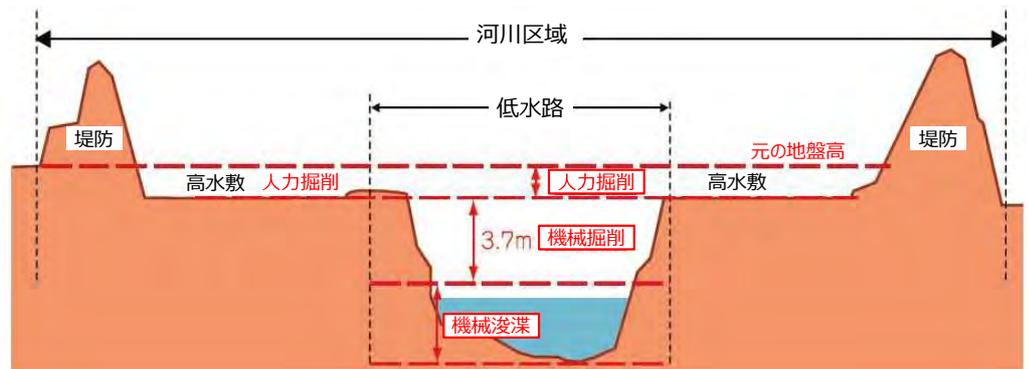
## 荒川放水路開削工事



人力掘削の様子（土運搬状況）



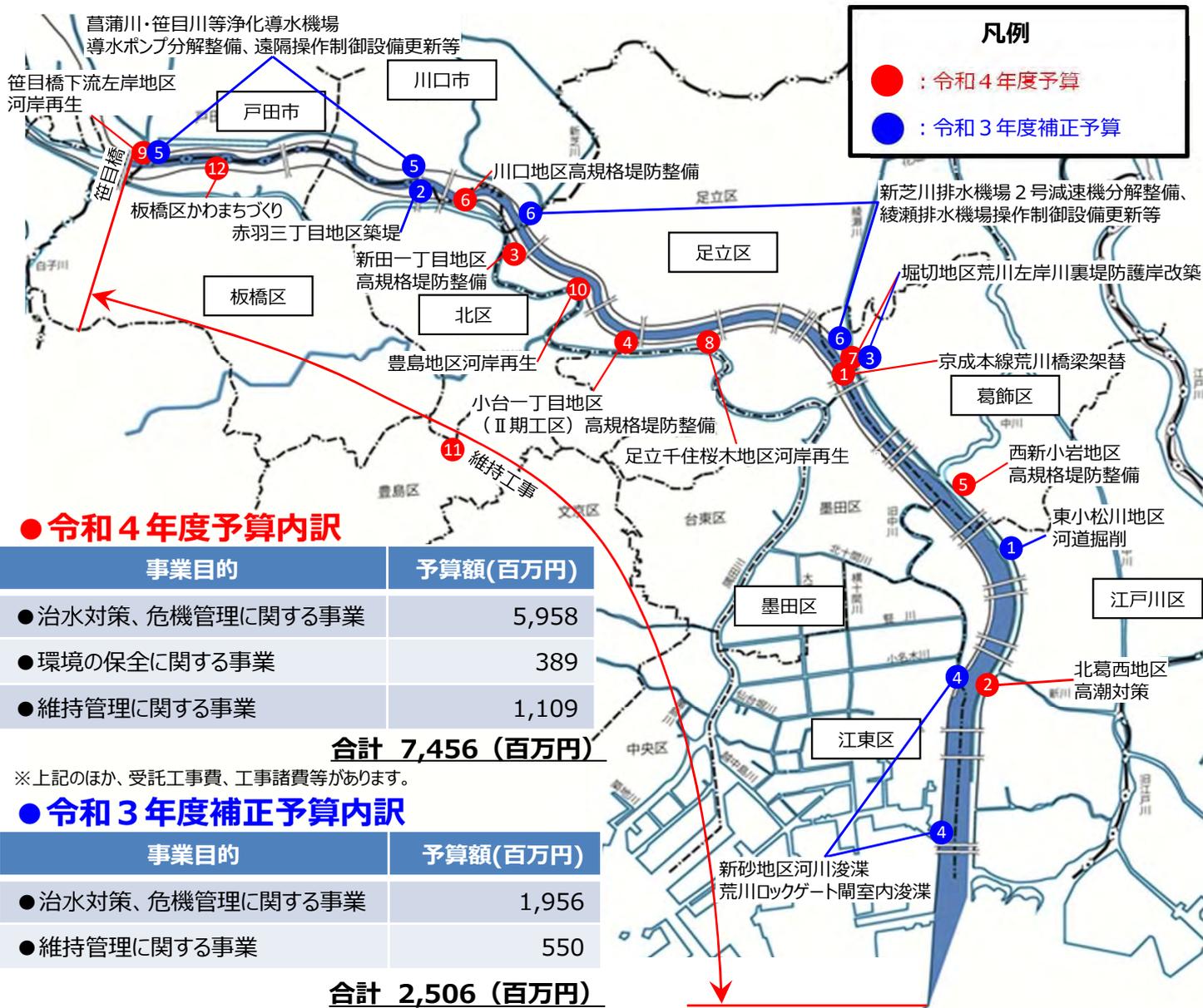
蒸気掘削機による機械掘削の様子



掘削箇所と開掘手法（概念図）

# 令和4年度 主要事業

気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るため、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者の協働による、ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」を推進します。



## ● 令和4年度予算内訳

事業目的	予算額(百万円)
● 治水対策、危機管理に関する事業	5,958
● 環境の保全に関する事業	389
● 維持管理に関する事業	1,109
<b>合計</b>	<b>7,456 (百万円)</b>

※上記のほか、受託工事費、工事諸費等があります。

## ● 令和3年度補正予算内訳

事業目的	予算額(百万円)
● 治水対策、危機管理に関する事業	1,956
● 維持管理に関する事業	550
<b>合計</b>	<b>2,506 (百万円)</b>

首都圏大規模水害から街を守る治水対策
(1) 洪水を安全に流下させるための対策
① 京成本線荒川橋梁架替
② 東小松川地区河道掘削
③ 赤羽三丁目地区築堤
(2) 高潮堤防の整備
④ 北葛西地区高潮対策
(3) 超過洪水対策
⑤ 新田一丁目地区高規格堤防整備
⑥ 小台一丁目地区(Ⅱ期工区)高規格堤防整備
⑦ 西新小岩地区高規格堤防整備
⑧ 川口地区高規格堤防整備

大規模地震から街を守る治水対策
首都直下地震・首都圏大規模水害に備えた危機管理
河川管理施設の地震対策
⑨ 堀切地区荒川左岸川裏堤防護岸改築

良好な環境の保全
自然な河岸の再生
⑩ 千住桜木地区河岸再生
⑪ 菅目橋下流左岸地区河岸再生
⑫ 豊島地区河岸再生

安全を持続的に確保するための維持管理
治水機能を支える維持管理
⑬ 維持工事
⑭ 新砂地区河川浚渫、荒川ロックゲート閘室内浚渫
⑮ 菑浦川・菅目川等浄化導水機場導水ポンプ分解整備、遠隔操作制御設備更新等
⑯ 新芝川排水機場2号減速機分解整備、綾瀬排水機場操作制御設備更新等

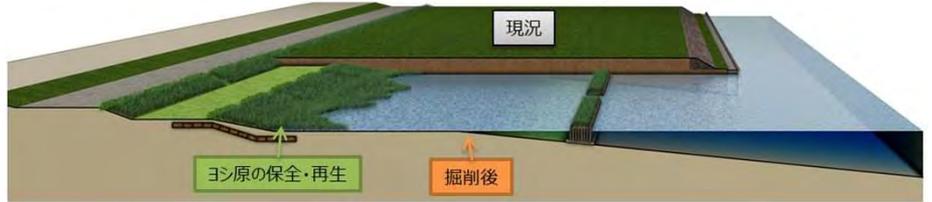
地域や市民との連携の推進
協働による安全・快適な荒川づくり (ミズベ・グリーンコミュニティ)
⑰ 板橋区かわまちづくり

- 荒川下流部は人口や資産、社会経済活動の中核機能などが集中しており、仮に荒川の堤防が決壊し氾濫すれば、広大な地域が浸水し、甚大な被害が発生するおそれがあります。既設の二瀬ダムや荒川第一調節池、整備中の荒川第二・第三調整池等の洪水調節施設等に加え、下記の対策を実施し、被害の防止・軽減に向け、洪水・高潮に対する安全性の向上を図ります。

### (1) 洪水を安全に流下させるための対策

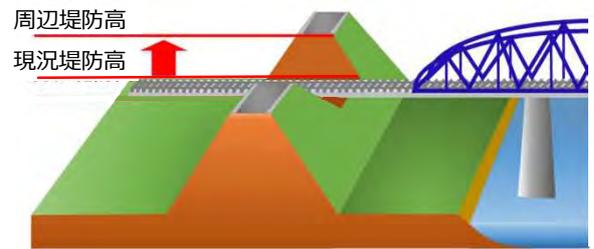
#### 河道掘削

- 高水敷部や河岸部の河道掘削を行い、洪水を安全に流下させるとともに、多様性のある湿地環境の再生を目指します。



#### 京成本線荒川橋梁架替事業

- 京成本線の荒川橋梁（葛飾区堀切～足立区柳原間）は、橋梁の高さが低いため荒川下流部で最も堤防の高さが不足しています。橋梁を高い位置に架け替え、堤防の高さが低い区間の解消を目指します。

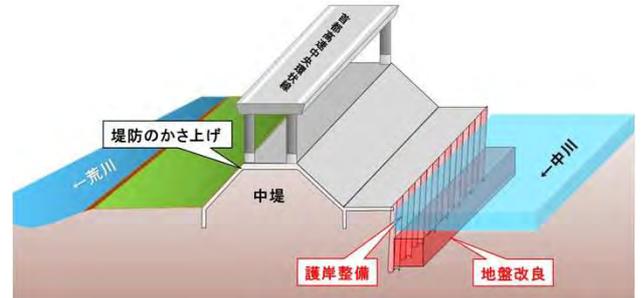


周辺の堤防高さに対して低い京成本線荒川橋梁

### (2) 高潮堤防の整備

#### 高潮対策

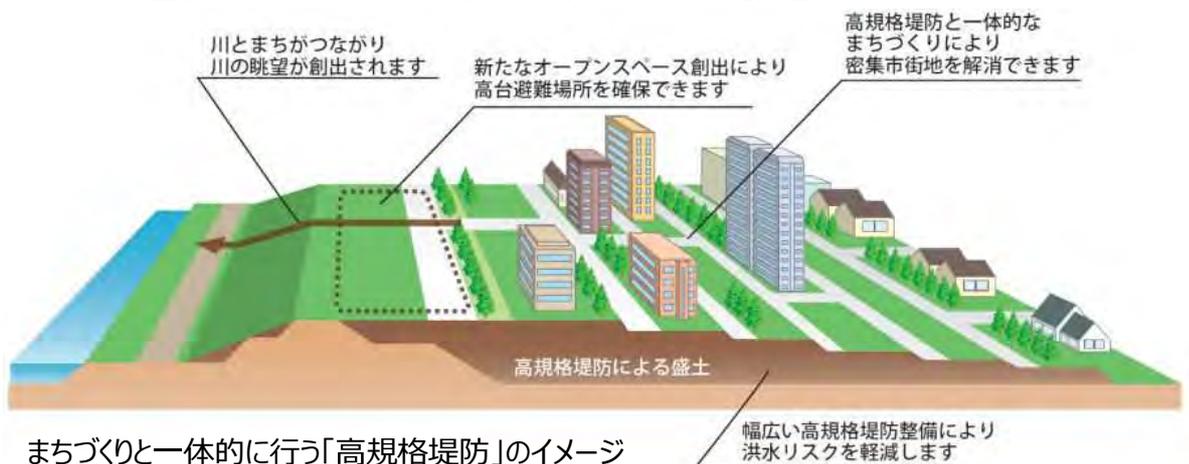
- 高潮堤防について、必要な堤防断面を満たしていない区間の堤防のかさ上げ等を実施し、高潮に対する安全性の向上を図ります。



### (3) 超過洪水対策

#### 高規格堤防整備事業

- 荒川の下流部では想定を超える大規模な洪水に対しても、堤防が決壊しない幅の広い「高規格堤防」の整備を進めています。高規格堤防は、ふつうの堤防と比較して幅を広く（堤防の高さの30倍程度）なだらかな勾配で堤防を整備することにより、想定を超える大規模な洪水でも堤防が決壊することを防止します。また、高規格堤防を整備し、その上面を活用した高台まちづくりを推進します。



まちづくりと一体的に行う「高規格堤防」のイメージ

# 主要事業

## 2.大規模地震から街を守る治水対策

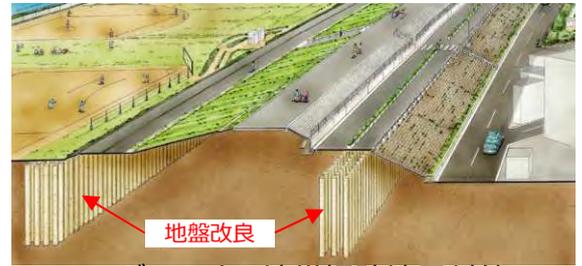


- 大規模地震により河川管理施設が損傷し、洪水・高潮等が氾濫すれば、甚大な被害が発生するおそれがあります。被害を最小限にするとともに、早期復旧を実現するためにハード・ソフト面からの対策を講じます。

### (1) 河川管理施設の地震対策

#### 地震対策・ゼロメートル地帯堤防地震対策

- 地震に対して河川管理施設の機能が確保されるよう地震対策を行っています。さらに人口・資産が集中するゼロメートル地帯を抱える堤防についてはその重要性に鑑み、大規模地震に対して堤防の沈下を抑制する地震対策を行い高潮等の越流による氾濫を防ぎます。



ゼロメートル地帯堤防地震対策

## 3.首都直下地震・首都圏大規模水害に備えた危機管理



### (1) 災害対応の体制等の整備

#### タイムライン（事前防災行動計画）

- 平成27年から運用を開始し、平成29年から沿川16市区を対象とした「荒川下流タイムライン（拡大試行版）」を運用しています。
- 早期の危機感の共有、早期対応の意思決定を促すタイムラインの改善を図るべく、荒川下流域水防災タイムライン（流域タイムライン）を検討し令和4年度からの運用を目指しています。
- これまでのメールによる関係者との情報共有に加え、令和3年から「荒川下流タイムラインWEB運用会議」を一部関係者と実施しています。



荒川下流WEB運用会議

### (2) 震災時における防災施設の活用のための体制整備

#### 地震防災訓練

- 大規模震災時に緊急用河川敷道路や緊急用船着場等の防災施設を関係機関が有効かつ円滑に活用し、迅速な災害対策活動を行うため、平成23年度に沿川自治体、警察、消防、自衛隊等で構成される「荒川下流防災施設運用協議会」を発足し、継続的に協議を行っています。
- 協議会では、防災施設の利用ルール等を定めた「荒川下流防災施設活用計画」を策定し、関係機関が防災施設を利活用するための体制を整えています。更に「実働訓練」「計画の充実」等を行い、関係機関の連携強化を進めていきます。

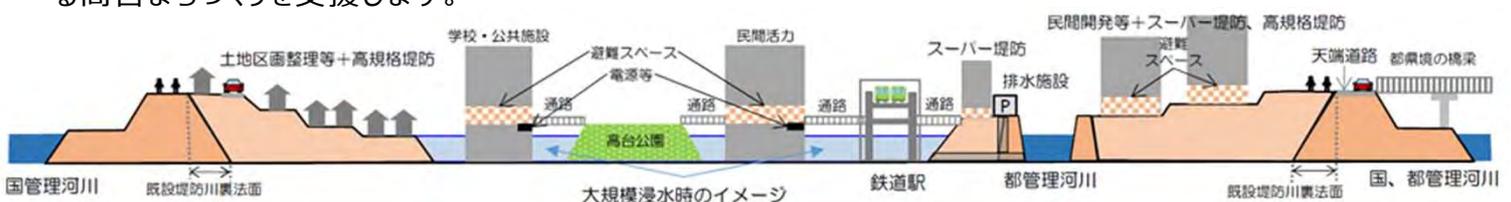


実働訓練（水上輸送訓練）

### (3) 高台まちづくりの推進

#### 高台まちづくり

- 地域ごとに浸水深、浸水継続時間などの水害リスクが異なることから、国、都、地元区等が一体となり、避難のあり方や排水対策等を踏まえた高台まちづくりのあり方の検討や、モデル地区などの具体的な地域における高台まちづくりを支援します。



## 主要事業

### 4. 良好な環境の保全



- 荒川は都市部における貴重なオープンスペースであるとともに、多様な生物の生息・生育・繁殖環境となっています。すべての人にやさしく、豊かな自然のある荒川を目指した整備を進めます。

#### (1) 自然な河岸の再生

##### ヨシ原や干潟の保全・再生

- かつて荒川下流部の水際はヨシ原や干潟の多様な自然が形成されていましたが、高水敷の造成や船舶の航行時に発生する波（航走波）等による侵食により、多様な生物の生息・生育・繁殖環境が減少しました。
- 河岸の緩傾斜化により水際部から高水敷のつながりを確保するとともに、河岸前面に木工沈床等を設置し、航走波による侵食を軽減・防止することにより、多様な生物の生息・生育・繁殖環境となる、ヨシ原や干潟の保全・再生を行っています。



千住桜木地区

#### (2) 良好な水質の確保

##### 水質調査

- 荒川の水質は、高度経済成長期に汚濁が進み著しく悪化しましたが、流域の下水道整備や法令による排水の規制、環境意識の高まりなどにより、近年は水質が改善されてきています。
- 今後も公共用水域の水質監視を行い、関係機関と連携して水質改善に取り組んでいきます。
- 水質事故の発生時は、関係機関と連携し、流出防止や回収作業を行います。

※水質事故とは、油類や有害物質等が河川に流出することで、魚のへい死などの被害をもたらすことです。



公共用水域水質調査



水質事故発生時作業

## 主要事業

### 5. 安全性を持続的に確保するための維持管理



- 巡視や点検等を行い災害に備えるとともに、誰もが安心して利用できる荒川を目指して維持管理を行います。

#### (1) 荒川下流DXの推進

##### 3D河川管内図による維持管理検討

- 令和3年度に公開した3D河川管内図の基礎データの充実を図るとともに、この管内図を活用した河川業務の効率化・高度化の検討を進めます。



荒川3D河川管内図  
(詳しくはこちら↓)



公開した3D河川管内図



河川保全区域等の公開

##### 河川巡視高度化の検討

- 河川巡視の高度化のため、AIを活用したカメラ画像による河川巡視や巡視体制の構築の検討を進めていきます。

##### 荒川DX勉強会

- 荒川下流域における河川管理DXのあるべき姿の実現に向け、官民の垣根を越えた関係者からなる「荒川DX勉強会」において、持続可能な荒川デジタルツイン構想の議論を行います。



荒川DX勉強会

## (2) 治水機能を支える維持管理

### 河川巡視

- 川の機能が正常に保たれているか、堤防などに異常がないか、ゴミの投棄やバイクの進入等の不法行為がないかなど、年間365日の河川巡視を行っています。

### 堤防除草

- 堤防の点検や、河川の状態把握のために、年2回(出水期前、台風期前)堤防の除草を行っています。

### 堤防点検

- 台風等による洪水被害が発生する可能性が高い時期を前に、職員が治水上の危険性に着目し、堤防を中心とした施設の状態を把握し、出水期前に修繕等の対応をするため堤防点検を行っています。

### 水門等の河川管理施設の保守・点検

- 洪水等の緊急時に確実な操作を行うため、日頃より水門、排水機場等の河川管理施設の保守・点検を行っています。

### 水門、排水機場の修繕

- 水門や排水機場の機能維持及び信頼性向上を目的に、設備修繕を行っています。

### ホームレス合同巡視

- 沿川自治体、警察と連携してホームレス合同巡視を年2回実施し、小屋等の不法工作物の早期撤去、ゴミの持ち込み抑制、ホームレスの自立支援を図ります。



堤防除草



堤防点検



排水機場点検

## (3) 安心・快適な河川利用の促進

### 荒川下流河川敷利用ルールの周知

- 利用ルールの周知啓発により、河川敷を誰もが安全で快適に利用出来る環境を目指します。

### 安全利用点検

- 河川に人が集まるGW及び夏休み前に、河川空間を安心して利用していただくため、施設の点検を実施します。



【周知啓発活動】マナーアップキャンペーン



- 社会情勢の変化や地域社会のニーズに的確に対応した河川の計画・整備・維持管理・利用等を行うため、地域と国、住民と行政とのパートナーシップを深めていきます。

協働による安全・快適な荒川づくり（ミズベ・グリーンコミュニティ）

河川協力団体

- 自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う団体を、地域の実情に合わせた多岐にわたる河川管理の充実を図るため、河川協力団体として指定し、連携した活動を行います。

水辺の楽校

- 子供達の自然体験や環境学習を支援するため、地域の方々及び地元自治体と協力して河川空間の整備をしました。生物調査や水質調査などの環境学習を実施しています。



北区・子どもの水辺

荒川水辺サポーター

- 荒川下流河川事務所と連携して維持管理活動をしていただく「荒川水辺サポーター」を募集し、自然地の維持管理を行っています。
- 令和4年3月末時点で、千住桜木地区、小松川地区、本木地区の3地区において全27団体が荒川水辺サポーターとして活動しています。



水辺サポーター（千住桜木地区）

荒川クリーンエイド

- 市民やNPO、沿川の自治体などと協力し、自然豊かできれいな荒川を取り戻すため、ゴミ拾い活動を進めています。



荒川クリーンエイド

荒川情報レポーター

- 河川敷の散策、自然観察、スポーツ活動、イベント参加など日常生活の中で河川を利用した際に気づいたこと、意見などを、当事務所に投稿していただき河川の維持管理、今後の整備などに活用しています。

新河岸川流域川づくり連絡会

- 新河岸川流域では、市民と行政等が連携した流域一体での『いい川づくり』の実現に向けて、川づくり連絡会や発表会を開催し、総合治水対策や健全な水循環再生、また多自然川づくり等の理解・意識向上に取り組んでいます。



第17回川でつながる発表会

水辺の賑わいの創造（ミズベリング）

- 住民、企業、行政と連携し、賑わい、美しい景観、豊かな自然環境を備えた水辺空間をまちづくりと一体となって創出します。

ミズベリング荒川下流会議  
（詳しくはこちら↓）



第11回ミズベリング荒川下流会議

荒川知水資料館（アモア）の運営

- 過去の水害や荒川の成り立ち、都市の発展と新たな治水上の課題などについて伝え、荒川の治水対策について考えてもらう施設です。事業紹介や流域情報の受発信、防災・環境教育の支援などの取り組みを行っています。
- 関東地方整備局等が所管する河川・防災学習拠点と連携した『水害から命を守る100万人プロジェクト』を実施していきます。



かわまちづくり

- 河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

# 荒川下流河川事務所の取り組み

## Topic1 SDGs達成への取り組み

- 事務所発注工事において、SDGs達成貢献の取組を評価

総合評価落札方式による分任官工事において、SDGs貢献の取組の一環として、CO2吸収型コンクリート等、NETIS登録されているカーボンニュートラル、脱炭素社会実現に向けた新技術の活用実績を有している企業に対し新たに加点評価します。



- 工事での取り組み

荒川下流工事安全対策協議会 小名木川支部においては、荒川下流域で取り組む「流域治水×SDGs」の一環で、水災害にも強い持続可能な社会の発展に貢献する官民連携のインフラ整備・管理によるSDGs達成貢献を多くの人に知ってもらうため、工事現場から情報発信を行っています。



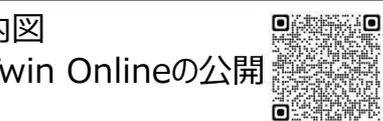
[arakawakaryukasen - YouTube](#)

## Topic2 荒川DXの取り組み

- 荒川3D河川管内図

Arakawa Digital Twin Onlineの公開

(1)点群データなどを基に、荒川下流管内の3D河川モデルを構築しました。オンライン上での公開は全国初の取り組みです。



主な掲載データ

- ・ライブカメラ情報
- ・河川区域
- ・河川占有情報
- ・3D構造物モデル
- ・空撮画像
- ・点群データ 等



(2)洪水浸水想定区域図を2Dマップと3Dマップでシームレスに表示するアプリを公開しました。視覚的に水害リスクを把握できます。



- 荒川下流GISオープンデータポータル開設

誰もがインターネットを通じて容易にデータを利用できるよう、荒川下流GISオープンデータポータルを開設しました。二次利用可能なデータを公開し、あらゆる関係者のDXを促進します。



- 一時使用手続きのオンライン化による行政サービス向上

河川区域内の土地を一時的に使用する場合、一時使用届の提出をお願いする場合があります。この届出がWebでもできるようになりました。また、他の一時使用の届出状況がマップでご覧いただけます。

### オンライン一時使用届

<一時使用届をDX>

取手市河川事務所 橋本利徳 担当

荒川下流河川事務所では令和4年2月18日から一時使用届のオンライン受付を開始しました。

それぞれの入力フォームは以下のボタンからご利用ください。

- マラソンの一時使用届はこちら
- 撮影の一時使用届はこちら
- ドローンの一時使用届はこちら
- その他の一時使用届はこちら



- 荒川River-SKY-viewの公開



荒川下流域の360度パノラマ画像がご覧いただける、荒川River-SKY-viewを公開しました。笹目橋～荒川河口橋までを17区間に区切って公開しています。

公開しました。笹目橋～荒川河口橋までを17区間に区切って公開しています。

- 荒川河川敷ドローンテストフィールド

～インフラ分野のDX推進及び観光資源の発掘を目的とした自治体と河川事務所等が連携した社会実験～

23区内初の公共機関が設置する屋外飛行訓練場「ドローンテストフィールド」を、荒川岩淵関緑地バーベキュー場に開設しました。



# 荒川下流河川事務所の取り組み

## Topic3 ミズベ・グリーンコミュニティの取り組み

### ● 板橋区かわまちづくり

市街地側と河川側を連絡通路で結ぶことにより、親水及び交流拠点を一体的に形成することで、交流の機会や場を創出します。



### ● 通水100周年 カウントダウンイベントを開催

荒川放水路通水100周年1,000日前、令和4年1月16日にカウントダウンイベント第1弾としてカウントダウンボードの除幕式などを行いました。



### ● 荒川知水資料館で活動情報を一元化

荒川下流管内におけるグリーンコミュニティ（活動団体＝市民団体、企業、学校等）の活動状況等を調査し、荒川知水資料館から情報発信（HP・館内掲示等）していきます。

### ● バーチャルamoの開館

ドールハウスのように荒川知水資料館を見たり、館内を歩き回るように展示物を閲覧したり、VRで疑似体験も出来ます。



### ● ゴミマップをわかりやすく

管内の不法投棄によるゴミの状況をとりまとめている「荒川下流ゴミマップ」について、ゴミの問題に関心をもっただけのよう、デジタル技術を活用して改良しました。色の濃淡等で荒川のゴミ問題がわかりやすくなりました。



## Topic4 荒川下流域「流域治水」の取り組み

### ● 流域治水プロジェクトの充実化

流域治水の一層の推進に向けて、全国共通の指標による取組の進捗状況や効果の見える化、流域治水×グリーンインフラのとりまとめ、積極的・先進的・特徴的な事例を示すなどプロジェクトの充実化を全国的に実施し公表しました。

また、荒川水系（東京ブロック）流域治水協議会では、住民・企業の皆様に流域治水へ主体的に参画して頂くことを目的としたシンポジウムの開催や対策状況（東京ブロック）について、荒川3D河川管内図に掲載するなど、地域の方にわかりやすい情報提供などを行いました。



荒川流域治水シンポジウムはこちら



## Topic5 コロナ禍での分散避難の検討

- コロナ禍において水害等における指定避難所等は密を避けることが不可欠となり、指定避難所以外への避難の選択肢を網羅した避難方法が分散避難です。
- 適切な分散避難の実現とその実効性を高めることを目的に、モデル地区（足立区）において分散避難のあり方と留意点の検討を令和3年度から開始し、WG（ワーキンググループ）をこれまで3回実施しました。



第2回WG（令和4年1月）

## Topic6 岩淵水門のゲート修繕が完了

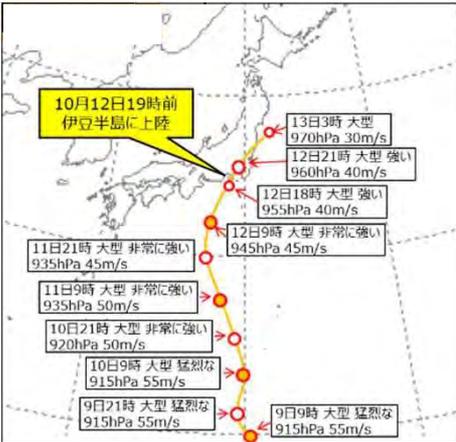
- 岩淵水門においては、令和元年度～令和3年度に渡り毎年1門ずつローラの分解整備、塗替塗装を行っていましたが、このたび最後の1号ゲートの修繕が完了しました。
- 今後も水門等の河川管理施設について、洪水等の緊急時に確実に機能が発揮できるよう施設の維持管理を実施していきます。



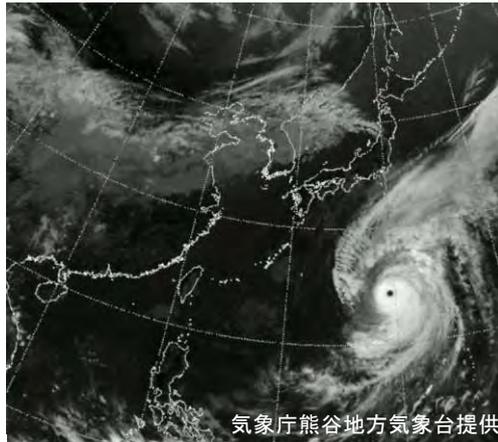
# 令和元年東日本台風（台風第19号）

## （1）気象・降雨・水位状況

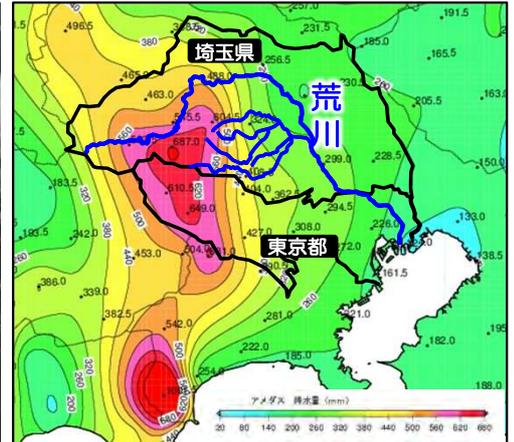
- 10月6日南鳥島近海で発生した台風第19号は、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わりました。この台風第19号の接近・通過に伴い、広い範囲で記録的な大雨や暴風を記録しました。
- 10日～13日までの総降水量は、関東地方の多くの地点で既往最高雨量を更新する記録的な大雨となり、岩淵水門（上）水位観測所（東京都北区）では、戦後3位となる水位を記録しました。
- 気象庁は、この令和元年台風第19号を1977年（昭和52年）9月の沖永良部台風以来、42年ぶりに「令和元年東日本台風」と命名しました。



台風経路図



気象衛星赤外画像



アメダス積算降水量分布図  
(10月10日0時～10月13日24時)

### 降水量

- 荒川流域の雨量は戦後1位を記録しました。

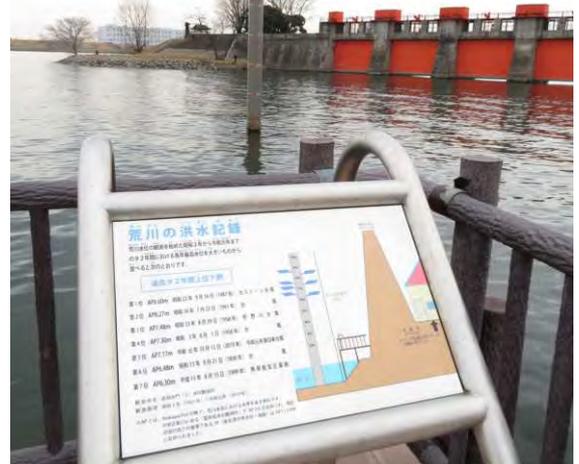
■ 主要洪水（戦後）の流域平均雨量（笹目橋上流域）

	洪水	雨量
1	令和元年東日本台風	446mm/3日間
2	昭和22年9月カスリーン台風	436mm/3日間
3	平成11年8月熱帯低気圧	401mm/3日間



水位標柱（東京都北区）

標柱の設置後初めて  
水位記録表示を追加



### 水位

- 岩淵水門（上）の水位は戦後3位を記録しました。

■ 主要洪水（戦後）の最高水位（岩淵水門（上）水位観測所）

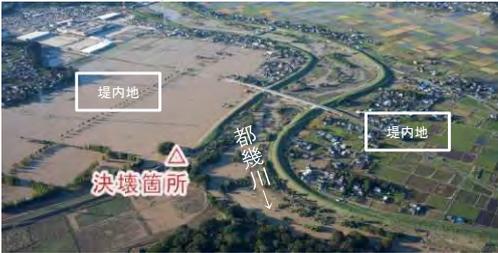
	洪水	水位
1	昭和22年9月カスリーン台風	A.P.+8.60m
2	昭和33年9月狩野川台風	A.P.+7.48m
3	令和元年東日本台風	A.P.+7.17m

# 令和元年東日本台風（台風第19号）

## (2) 出水状況

- 上流の熊谷、治水橋、菅間水位観測所は、氾濫危険水位を超え、支川では、越辺川右岸0.0k付近、越辺川左岸7.6k付近、都幾川右岸0.4k、5.9k及び左岸6.5k付近において堤防が決壊し、甚大な被害が発生しました。一方、荒川第一調節池より下流にある岩淵水門（上）水位観測所では避難判断水位を超えたものの氾濫危険水位には到達しませんでした。

### ■ 都幾川右岸0.4k付近の決壊箇所 (埼玉県東松山市早俣地先)



### ■ 越辺川右岸0.0k付近の決壊箇所 (埼玉県川越市平塚新田地先)



### ■ 岩淵水門付近



### ■ 平常時



観測所	生起日時	記録水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	
荒川上流	熊谷	10月12日(土) 18:00	6.25m	3.00m	3.50m	5.00m	5.50m
	治水橋	10月13日(日) 5:00	13.08m	7.00m	7.50m	12.10m	12.60m
	菅間 (支川入間川)	10月13日(日) 1:00	12.60m	7.00m	8.00m	11.50m	12.00m
荒川下流	岩淵水門(上)	10月13日(日) 9:50	7.17m	3.00m	4.10m	6.50m	7.70m
	南砂町	10月13日(日) 4:20	2.76m	2.00m※	3.00m※	—	—

※高潮の場合

### ■ 荒川第一調節池



### ■ 岩淵水門閉鎖時の荒川と隅田川（新河岸川）の水位状況

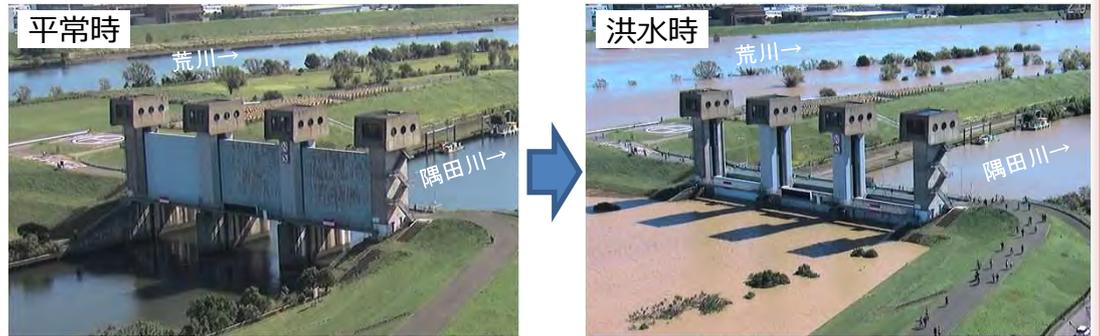


# 令和元年東日本台風（台風第19号）

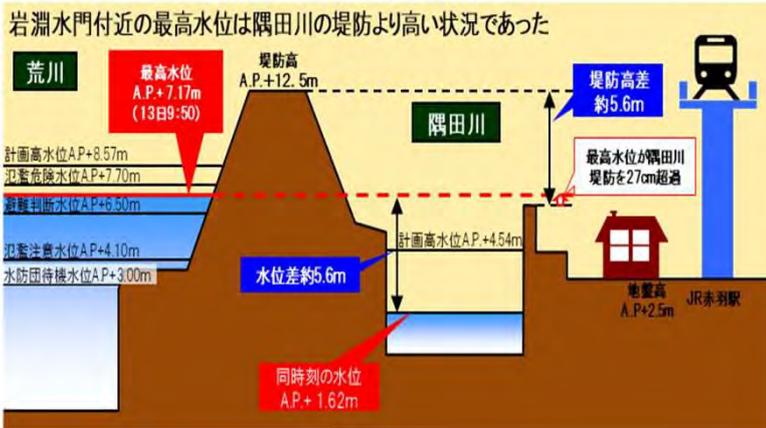
## （3）河川管理施設による効果等（洪水時の状況を含む）

### 岩淵水門

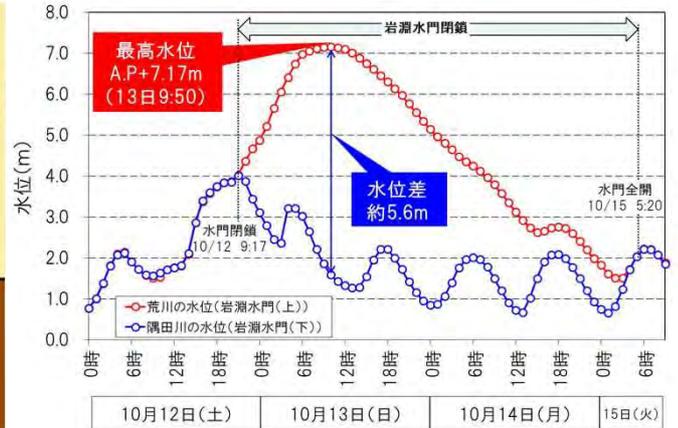
- 岩淵水門を12年ぶりに閉鎖し、荒川の洪水が隅田川に流入することを防ぎました。岩淵水門閉鎖後、荒川と隅田川の水位差が5m以上生じました。



荒川の水位と隅田川の堤防高(岩淵水門付近)

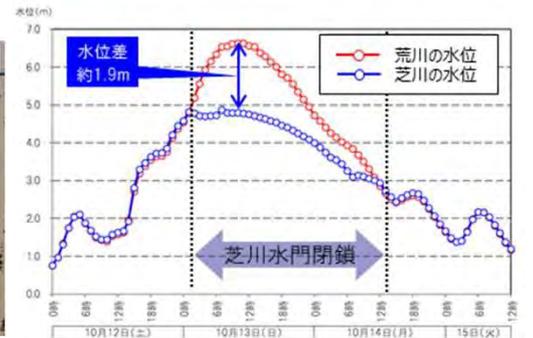


岩淵水門(上)【荒川側】と岩淵水門(下)【隅田川側】の水位



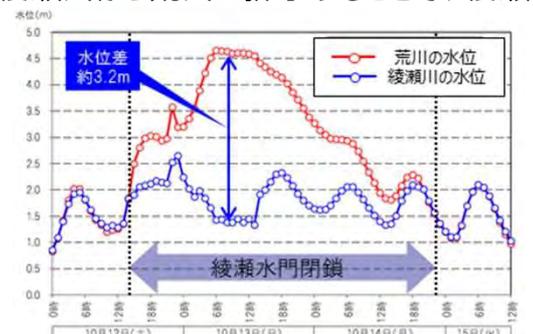
### 芝川水門・新芝川排水機場

- 荒川の水位上昇に伴い、平常時は開いている芝川水門を閉鎖し、新芝川への洪水の逆流を防止しました。新芝川排水機場は、735万 $m^3$ （東京ドーム約6杯分）の水を新芝川から荒川に排水することで、新芝川の水位上昇を抑制し、内水被害の防止・軽減に寄与しました。



### 綾瀬水門・綾瀬排水機場

- 荒川の水位上昇に伴い、平常時は開いている綾瀬水門を閉鎖し、綾瀬川への洪水の逆流を防止しました。綾瀬排水機場は、980.4万 $m^3$ （東京ドーム約8杯分）の水を綾瀬川から荒川に排水することで、綾瀬川の水位上昇を抑制し、内水被害の防止・軽減に寄与しました。





## 荒川下流河川事務所

- 国土交通省 関東地方整備局  
荒川下流河川事務所  
〒115-0042  
東京都北区志茂 5-41-1  
TEL : 03-3902-2311 (代表)  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

- 岩淵出張所  
〒115-0042  
東京都北区志茂 5-41-2  
TEL:03-3901-4240 FAX:03-3901-2442



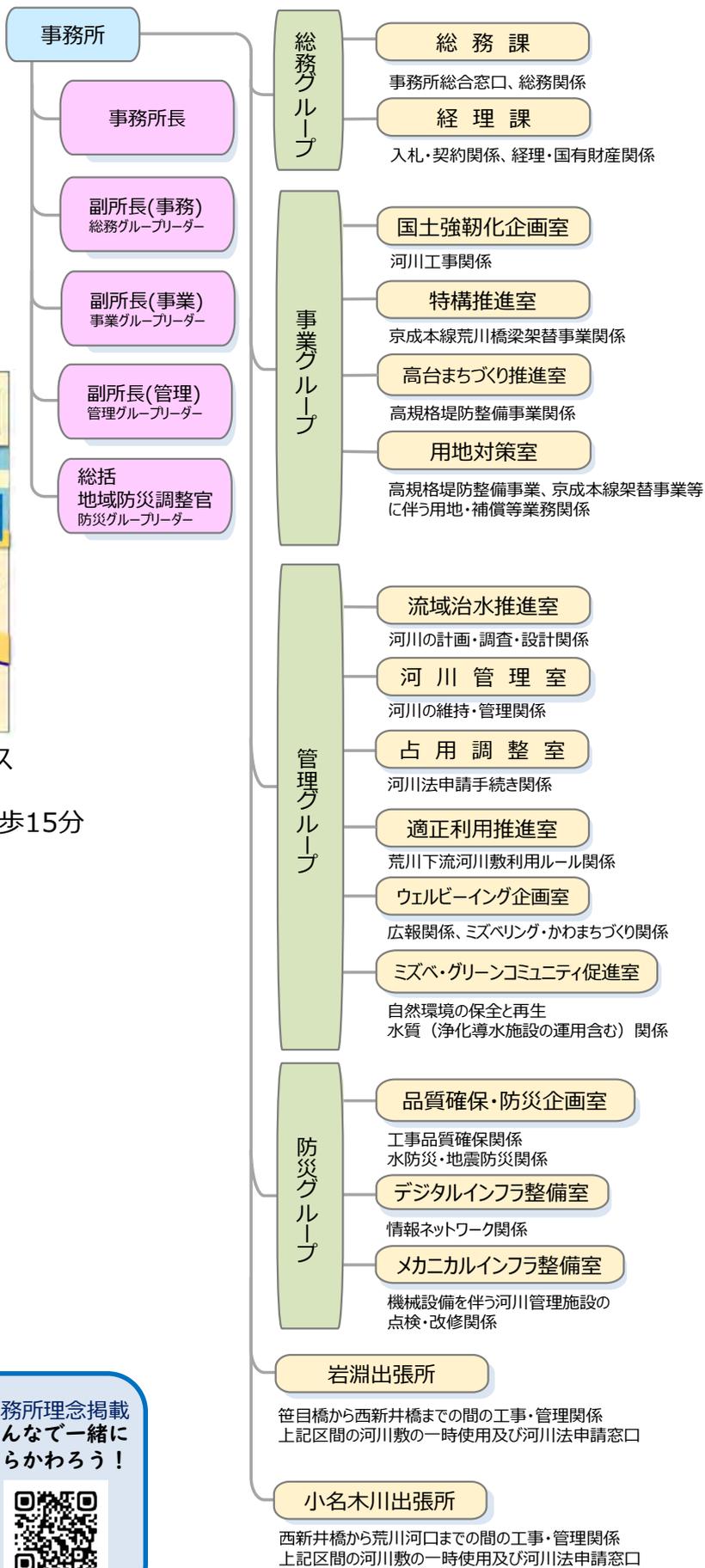
- 荒川下流河川事務所、岩淵出張所へのアクセス  
JR線赤羽駅より徒歩20分  
地下鉄南北線赤羽岩淵駅または志茂駅より徒歩15分

- 小名木川出張所  
〒136-0072  
東京都江東区大島 8-33-26  
TEL:03-3681-6131 FAX:03-3683-7453



- 小名木川出張所へのアクセス  
都営新宿線東大島駅より徒歩 5分

## 令和4年度の組織図



QRコード

事務所ホームページ



事務所理念掲載  
みんなで一緒に  
あらわろう！

